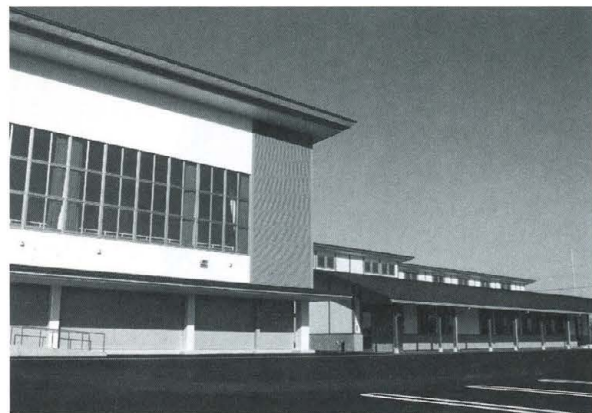




落成式典後開かれた祝賀会で披露された寄木念仏剣舞

松尾コミュニティセンター落成

地域活動の拠点へ



●松尾コミュニティセンター

- 住所 野駄第7地割220番地
 - 使用時間 午前9時から午後9時まで
 - 休館日 毎月2回の日曜日、祝日、年末年始(12月29日から1月3日まで)
- 施設利用など詳しくは、松尾コミュニティセンター(松尾地区公民館、☎76-3235)まで。

市が21年度から整備を進めていた松尾コミュニティセンターが完成しました。落成記念式典(同実行委員会主催)は昨年12月17日、同センターで行われました。関係者など約150人が参加。松尾中学校吹奏楽部のファンファーレを合図に関係者がテープカットを行い、完成を祝いました。田村正彦市長は「地域の皆さんの健康づくりや文化活動の施設として有効に利用してほしい」とあいさつしました。

参加者が施設内を見学した後、祝賀会が開かれ、松尾中学校吹奏楽部のジャズ演奏や市指定無形民俗文化財の寄木念仏舞(伊藤政子保存会長)が披露され、同センターの落成に花を添えました。

同センターは、旧松尾地区公民館と旧松尾地区体育館の跡地に建設されました。総面積は1542平方メートル。木造平屋建ての会議室や和室、調理実習室、図書室と鉄骨造りの体育館を備えています。22年9月に建設工事を開始し、旧公民館などの解体工事を含めた総事業費は、約6億4200万円。新しい松尾地区公民館として、地域活動拠点の機能を果たすことが期待されています。

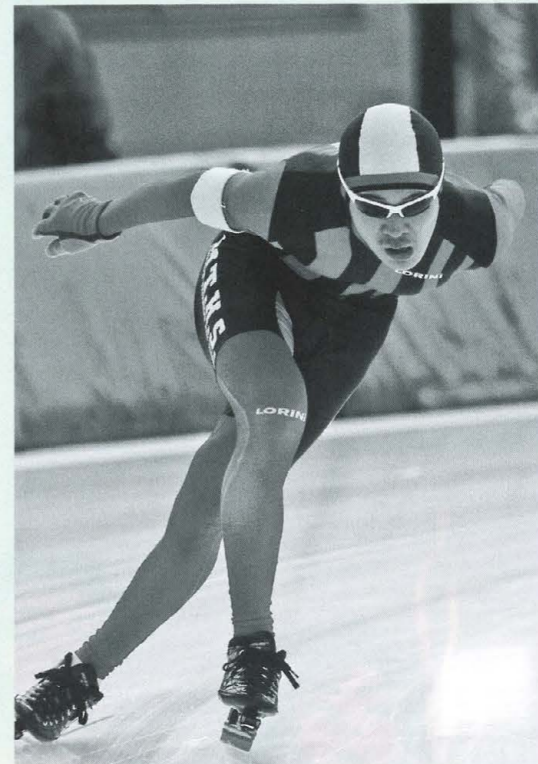
CONTENTS

- 目次
- 02 Zoom Up 人 泉山雄一さん
- 03 Front Topics 地域活動の拠点へ 松尾コミュニティセンター落成
- 04 市長・議長年頭のあいさつ
- 06 小林潤志郎選手・FISワールドカップジャンプで健闘見せる
- 08 紙面で振り返る2011年
- 10 新庁舎建設が始まります
- 12 準備はお早めに 申告相談
- 14 NEWS&INFORMATION 八幡平・安比ゆきフェスティバル開催 ほか
- 15 震災発生から10カ月 復興支える市民のチカラ Sports 各種スポーツ大会成績
- 16 話題ピックアップ 松岡修造さんテニス教室/フォレストiクリスマス会 ほか
- 18 福祉ネットワーク 保健のひろば 環境のみらい 介護のココロ
- 19 まちの企業探検隊② 岩手農協チキンフーズ練馬工場 われらスポーツ少年団No.19 柏台スポーツ少年団
- 20 博物館だより 図書館だより
- 21 よろこび おくやみ 人口の動き 交通事故件数など 広報クイズ
- 22 INFORMATION お知らせ
- 24 八幡平いにしへの宝 大神宮の夫婦杉と巨木群



今月の表紙

八幡平市芸術祭舞台発表・劇団「ふるさと発信株式会社」の第14回公演「飛んで孫悟空」は昨年11月27日、安代小学校体育館で開かれました。現代のシルクロードツアーの客が、三蔵法師一行に出会い、一行が珍道中を繰り広げる姿を歌あり、踊りありのコミディーで披露しました。



県高校スケート競技選手権大会
男子15000円優勝
泉山 雄一さん
いずみやま・ゆういち
盛岡工業高3年 平長

◎profile

平成5年八幡平市(旧安代町)生まれ。盛岡工業高校入学後、スピードスケート競技を始める。尊敬する人は同校植津悦典監督。身長168センチ。血液型B型のおひつじ座。田山小→田山中卒。18歳。

自己ベストを更新して 3年間の集大成を見せる

テンポを意識し、うまく水をとりえて滑ることはできていたが、後半まで安定したラップを出せなかった。タイムには満足していない。昨年11月26・27日の県スプリントスピード選手権を皮切りに開幕した県内のスピードスケート大会。県高校選手権大会男子15000円や県民体育大会少年男子15000円で優勝するなど、多数上位入賞を果たした泉山君は自らの課題をこう挙げた。

高校で新しいことに挑戦しようと思ったとき、先生に誘

われて「まさか自分がやると思わなかった」スピードスケート競技を始めた。ゼロからのスタート。不安と戦いながらひたすら練習に打ち込んだ。努力の成果はタイムに表れた。ランクに応じて大会に出場できるかが決まる日本スケート連盟スピードスケートバジテストをA級まで取得した。泉山君はスピードスケートを「常に目標があり挑戦できることで、自分を成長させてくれるもの」と語る。

今シーズンはインターハイ(1月21〜24日、群馬県)の

10000円と15000円、20000円リレーと団体(1月28日〜2月1日、岐阜県)に出場する予定の泉山君。昨年も同大会に出場し、全国大会に出場できた喜びがあった一方で「インターハイのリレーではあと一歩のところまで入賞することができず(9位)、悔しい思いをした。全国とのレベルの差を実感した」という。3年生のことし、高校生活最後の大会に気合が入る泉山君は「初心者だった自分を支えてくれた人たちのためにも、3年間積み上げてきたものを出し切りたい。個人では昨年のインターハイで出した自己ベストを更新して一つでも上の順位、リレーは入賞」と来るべき全国の舞台への目標を掲げた。